

# 桜井茶臼山古墳(桜井市)

別名/外山茶臼山古墳(とびちやうすやまこふん)

正面は桜井茶臼山古墳の後円部/西側から見たところ



そこで右手の前方部方向を見たところ/前方部2段、後円部3段築成の前方後円墳/4世紀初頭の築造/前方部が細く長い、前方部幅の広がらない柄鏡式の形態/墳丘周囲を取り巻く平坦面は周濠状遺構



後田部に近づいてみる



時計回りに回ってみよう



説明板が立っている



後円部の中央には竪穴式石室があり、木棺が納められていた/石室の中はすべて天井石に至るまで、多量の朱で塗られていた/石室の周りを丸太垣で囲み、結界を示していると云う/墳丘各段の斜面には葺石が葺かれている/埴輪は使用されていない

## 茶臼山古墳(国指定史跡)

全長約二〇七米、後円部径約二〇米、  
後円部高さ一九米、前方部幅約六二米、  
三段築成の前方後円墳で後円部径に  
対して前方部幅がせまい前期の形  
態を示しています。

前方部前面には今は失われたが丘陵が  
延びており、丘尾は切断による前方後円  
墳築造を考えさせる好状況を示し、  
古墳時代前期の前方後円墳のもつとも典  
型的なものとして、重要な遺跡です。

桜井市教育委員会

後円部を回り込む



後円部の後(北側)辺り/右手付近が後円部に登るルートらしいが、見過ごしてしまった(残念)



東側に回り込んだところ/フェンスの外側を進もう



こんな感じで後円部からくびれ部へと回り込む/左手は住宅が迫っている



この辺りがくびれ部/くびれ部にも墳丘に登るルートがあったらしいが見過ごしてしまった(全く残念/尤もこの時期草茫々らしいが)



前方部に沿ったフェンスと側溝の脇を進む



南側の道路が見えて来た



優しさいっぱい 記紀・万葉

# 大和さくらい 100選



公式サイト

## 大王の古墳群

《記紀・万葉ゆかりの地》

桜井市では、「優しさいっぱい 記紀・万葉 大和さくらい」事業を実施し、市内外より多数の応募をいただきました。市民目線で選ばれた100選は、推奨できるとっておきの「場所」や「もの」です。美しさ、雄大さ、奥深さをご堪能ください。

大和は 園のまほろば たたなづく香壇 山こもれる 大和しうるわし

桜井 記紀万葉プロジェクト推進協議会

連絡先 / 桜井市役所 ☎0744-42-9111

ここが前方部の南側/説明坂が立っている



# 史跡 桜井茶臼山古墳

鳥見山北麓の屋根を利用して作られた大型前方後円墳(全長三〇七m、後円部径一一〇m、前方部幅六一m、葺石をほとんどす)で墳形・副葬品などから四世紀前半を下らない時期に造営されたわが国最古の部類に属す大規模な古墳の一つである。

昭和二四―二五年、檀原考古学研究所が発掘調査を行った結果、後円部中央に底部穿孔の壺形土師器を並べた長方形の壇とその内側に竪穴式石室を検出した。石室は偏平な割石を架したもので、内法の長さ六・八m、幅一・一m、高さ一・六mである。室内にはトガの巨木で造った刳抜式の木棺の一部が遺存していた。盗掘を受けていたが鏡片、勾玉、剣、銅鉄などの武器類、車輪石、鋏形石などの腕飾類、さらに玉杖、玉葉などの特異な碧玉製品が出土している。

昭和四十八年三月二十七日指定

奈良県教育委員会

前方部を更に回り込もう



錆び付いた説明板が今も立っていた



前方部の西側を後円部方向(北方向)へと進む



前方でくびれて後円部となっているのが見て取れる/右手は周濠跡



正面がくびれ部辺り



これは西側の周濠跡を北側から南方向に見たところ



これは北側の住宅地から後円部を見たところ



手前にはこんな川が流れていた



参考ホームページ

<https://www.begin.or.jp/~munakata/tyausuyama.html>

<http://massneko.hatenablog.com/entry/2016/03/26/134607>

<http://tokyox.matrix.jp/wordpress/%E6%A1%9C%E4%BA%95%E8%8C%B6%E8%87%BC%E5%B1%B1%E5%8F%A4%E5%A2%B3/>

<http://www.nantokanko.jp/osusume/7857.html>

[https://74589594.at.webry.info/201409/article\\_1.html](https://74589594.at.webry.info/201409/article_1.html)

<https://blog.goo.ne.jp/fineblue7966/e/e342a83ba759ab8cfcebfbe30fafcdf9>

<http://www.kashikoken.jp/museum/yamatonoiseki/kofun/2017%20sakuraichausuyama.html>

<https://www.gensetsu.com/091030sakurai/doc1.htm>

<https://www.begin.or.jp/~munakata/tyausuyamakengaku.html>

